

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1			・散歩や園庭に遊びに行けているので有難いです。
	2 職員の配置数は適切であるか	11	4		1	→職員の配置基準は満たしている。昨年度よりも、個々のねらいの明確化や活動計画の充実、職員間の連携等に力を入れてきたが、限られた職員数で、子ども達一人一人の願いに応えていくために、療育の工夫をさらに検討していく。
	3 職員の専門性は適切であるか	10	3		2	・大変満足しています。 ・今の職員さんに不満はないですが、可能ならばアスペルガーの専門家が一人いてくれたらいいな、と思います。 ・職員さんの専門性や得意なことを全員が共有できるといいな、と思います。 →職員に足りていない専門性について改めて見直し、研修計画を立てていく。職員会議の行い方を見直し、職員間の情報共有の仕方を工夫していく。
	4 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	1			
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、支援計画※ i が作成されているか	15				
	6 活動内容※ ii が固定化しないよう工夫されているか	15				
	7 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	15				→同法人内の学童クラブと統合保育を行っている。学童クラブの仲間と集団的に活動するときと、ステップくんの仲間のみで活動をする時と、活動のねらいによって両方の機会を大事にできるように活動を組み立てている。
	8 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1			→丁寧な説明をしているつもりであったが、より保護者の想いに寄り添った説明ができるよう心掛けたい。
	9 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15				・直接やラインでもよくお話をきいていただき助けられています。 ・送迎時に学校からの連絡や放デイでの出来事、家庭での様子を伝えることができています。 ・定期的に行われる面談で、活動の様子を映像や写真で説明していただけるので、助かります。 →母だけでなく、父ともできるだけ共通理解を図っていけるよう働きかけていく。
	10 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等	11 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14				<p>・私自身は他の保護者と話せる関係を持っているが、話せる関係が持っていない方もいるのではないかと 思う。 ・茶話会では、普段話せない親さんの心情も知ることが できるので、茶話会はやはり大切な場だと思いま す。 ・支援学校の世帯とは、悩みが異なることが多いこと もあってか、話しがあまりできていないところがありま す。</p> <p>1 →1～2か月に一度茶話会を行っている。中には、いろ いろな事情があり茶話会に参加されにくい保護者の 方もいる。そうした保護者の方が、少人数でもいいの で他の保護者の方と話せる場が持てるよう工夫をして いきたいと思う。 →保護者の人数が多い為、茶話会を二つのグルー プに分けて行っている。それにより、同じグループでは ない保護者同士の方が話す機会が少なくなりました。 次年度は、グループ別に行うだけでなく、全体で 茶話会を行う機会も作っていく。</p>
	12 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15				
	13 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15				
	14 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15				
	15 個人情報に十分注意しているか	14				<p>1 →個人情報書類等に入れて管理をしている。事務所に保護者の方が出入りすることも多いので、個人情報の管理について、職員間でも再度周知をする。</p>
非常時等の対応	16 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	3			<p>2 →契約時に簡単な説明をしているが、実際に合わせたマニュアル整備の見直しが必要であり、丁寧な説明ができていない。早急に整備をし直し、保護者の方にも周知をしていく。</p>
	17 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13				<p>2 →避難訓練を行っているが、今年度は実施回数が少なかった。実際に必要な訓練内容を見直し実施していくと共に、災害に備え、必要な備蓄品や安全対策の見直しも行っていく。</p>
満足度	18 子どもは通所を楽しみにしているか	13	2			<p>・「やりたいことができる」のが楽しみなようです。 ・楽しみにしています。ステップのできごとをいろいろ話してくれたり、職員の名前をよく出して日々の楽しいのが伝わります。 ・家ではできない自然体験を通して生き生きとした姿を見ることができます。 ・今は自分の知らない場所(体験)に興味に向いて「行きたくない」と言う日もあります。 ・最近は学校の子どもと遊ぶことを楽しみにしている発言が多い。</p> <p>→年齢が上がってくると、世界が広がる中でいろんなことに興味を持ち、自分で選びたい気持ちも強くなっていく。そうした子どもたちの発達も大事にしつつ、事業所での活動に楽しみが持てるよう、子どもの想いも聴きながら活動内容などを工夫していく。</p>
	19 事業所の支援に満足しているか	15				

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。